

# 海軍公報

第七百四號

大正三年十二月十四日(月)  
海軍大臣官房

## ○令達

官房第三五三〇號ノ三  
臨時軍事費特別會計歳入科目左ノ通追加ス  
大正三年十二月十四日

海軍大臣 八代六郎

## 臨時軍事費歳入科目

款	項	目
(軍資金)		
	官有物拂下代	
		物品拂下代

## ○雜款

○滞任地變更  
海軍中尉木村二郎ハ東京ニ滞在地變更ノ儀十二月十一

海軍公報第七百四號 大正三年十二月十四日

日認許セラレタリ  
海軍機關大佐幡野道之助ハ佐世保ニ滞在地變更ノ儀十二月十一日認許セラレタリ

○着任  
新任水路部長上村海軍少將本月十二日着任  
海軍造兵廠長種子田海軍造兵總監本月九日着任

1319

八七一

(秘 外 部)

海軍公報 第七百四號

大正三年十二月十四日(月)

海軍大臣官房

○艦船所在

▲印ハハホフ  
指定ヲ要セズ

○十二月十四日午前十時調

【横須賀】口香取、口八雲、口金剛、相模、朝日、武藏、

安藝、笠置、松江、津輕、壹岐、山彦、口彌生、

吹雪、叢、有明、叢雲、如月、響、初霜、口神風、

口鴻、雉、鷗、白鷹、口夕霧、陽炎、栗橋丸、若宮丸、

神奈川丸、口水七一、水六八、水六七、水七〇

【横濱】 満州▲

【大湊】 曙▲、口水六六

【室蘭】 口龍

【函館】 水二九

【津】 比叡

【奥】 口攝津、河内、常磐、口春日、石見、淀、

丹後、富士、榛名▲、扶桑、嚴島、宗谷、口阿蘇、

口潮、若葉、朝風、子日、村雨、口夕風、疾風、追風、

口春風、初春、時雨、初雪、口水無月、卯月▲、長月▲、

菊月、口水五八、水五九、韓崎、口潛一〇、潛一一、

潛一二、潛一三、椅子山丸、潛一、潛二、潛六、

潛七、口潛四、潛三、潛五、硯海丸、歷山丸

【神戶】 龍田

【門司】 大和

【舞鶴】 鹿島▲、三笠、吾妻▲、見島▲、口真鶴▲、

千鳥▲、鷗▲

【敦賀】 集

【佐世保】 口利根、薩摩、明石▲、千代田、霧島▲、

敷島、宇治▲、須磨、沖島▲、口浦波▲、朝霧、

磯波▲、綾波▲、最上▲、口白霧、三日月、夕暮、夕立、

口野分▲、白雪▲、松風▲、口朝潮、白雲、口不知火、

薄雲、猿橋丸、雲雀、熊野丸、高崎丸

【長崎】 鷗▲

【仁川】 口鷗、鶉

【旅順】 口雁、口蒼鷹、白銀丸、排天丸

【上海】 口雁、伏見、鳥羽

【青島】 蟬丸、交月丸、阜月丸、卷雲丸、漣丸、霞丸、

口水七四、水七五、關東丸、友島丸

【某方面】

口出雲、肥前、淺間

海軍公報第七百四號 大正三年十二月十四日

二三九

▷鞍馬、生駒、筑波、矢矧、筑摩、口山風、海風

▷磐手、日進、伊吹、平戸

鳥取丸、幸壽丸、彼南丸、南海丸、鎌倉丸、加賀丸、八幡丸

【航海中】

遠江丸(十一月二十四日「ヤルト」發横須賀へ)

新高(十一月二十八日馬公發)

三池丸(十一月二十八日佐世保發)

天舞山丸(二日「トラック」發、パラオ)ヲ經テ佐世保へ)

周防(九日横須賀發舞鶴へ)

▷對馬(九日馬公發)

鹿兒島丸(十日佐世保發「パラオ」)

武州丸(十日佐世保發青島へ)

千歲(十一日横須賀發舞鶴へ)

豊播丸(十三日大湊發横須賀へ)

秋津洲(十三日佐世保發香港へ)

橋立(十四日横須賀發清水へ)

▷音羽、巨櫻、橘、(十四日横須賀發鳥羽へ)

駒橋、潜八、潜九(十四日函館發大湊へ)

○雜款

○郵便物送付先

第一南遣枝隊司令部及鞍馬、生駒、筑波、矢矧、筑摩、第十六驅逐隊宛 横須賀郵便局留置

軍艦伊吹、平戸宛 吳郵便局留置

軍艦榛名宛 十二月十五日迄ニ到達見込ノモノハ 吳

其以後ハ 神戶

軍艦笠置宛 十二月十五日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀

其以後ハ 横濱

軍艦橋立宛 十二月十七日迄ニ到達見込ノモノハ 清水

其以後ハ 横須賀

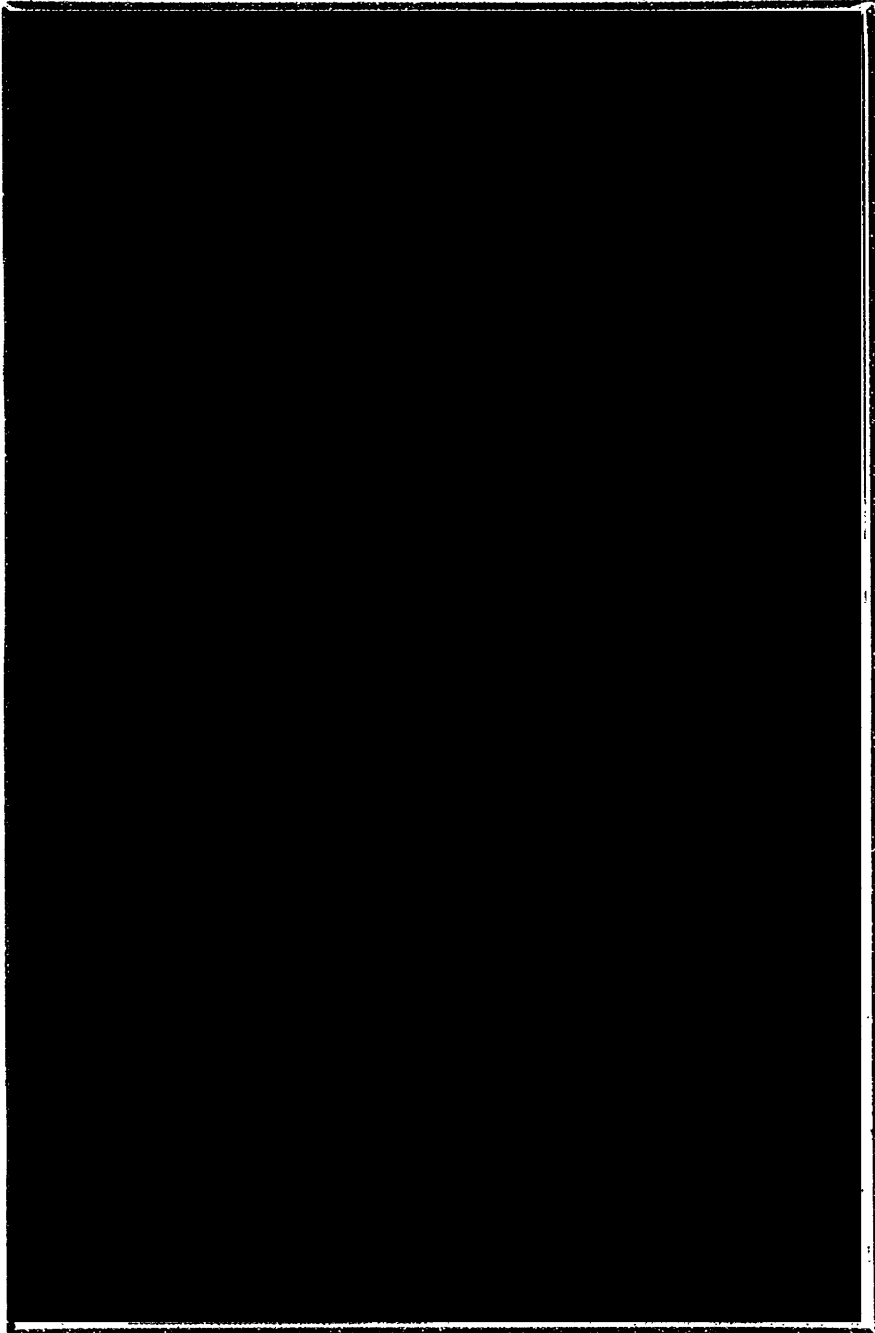
○電報肩書 軍艦滿洲宛ノ電報ニ「ハホ」ノ指定ヲナサス、神奈川縣事務部氣付トス

○懲罰 懲罰言渡書

海軍公報第七百四號

大正三年十二月十四日

二四一



1322

海軍公報第七百四號  
大正三年十二月十四日

三四二

1323

# 海軍公報

第七百五號

大正三年十二月十五日(火)

海軍大臣官房

## ○辭令

(各通)

海軍上等兵曹

今野今朝三郎

海軍機關兵曹長

關谷卯之吉

英國ニ於テ建造ノ驅逐艦浦風ノ艦裝ニ從事スヘシ(ハナハシ海軍艦政本部長)

## ○雜款

### ○滯在地變更

海軍中佐玉岡吉郎ハ吳ニ滯在地變更ノ儀十二月十四日認許セラレタリ

海軍少佐田邊榮次郎ハ東京ニ滯在地變更ノ儀十二月十四日認許セラレタリ

海軍少佐山下正一ハ東京ニ滯在地變更ノ儀十二月十四日認許セラレタリ

海軍軍醫大監園部彦長ハ横須賀ニ滯在地變更ノ儀十二月十四日認許セラレタリ

### ○京都本金庫所屬新舞鶴派出所設置

本年十二月十二日大藏省告示第百八號ヲ以テ京都本金

庫所屬新舞鶴派出所ヲ設置シ大正四年一月十五日ヨリ開始セララル

但シ出納區域ハ該派出所所在地及餘部町トス

海軍公報第七百五號 大正三年十二月十五日

八七三

1324

# 海軍公報 第七百五號

大正三年十二月十五日(火)  
海軍大臣官房

### ○ 辭令

海軍大佐 河田 勝治

同 竹村 伴吾

海軍少佐 大橋 朝正

同 高橋 律人

同 岸科 政雄

同 山田 正興

海軍大尉 田村 重彦

海軍港兵大技士 松下 正泰

同 波邊 貫三郎

魚形水雷改良調査委員ヲ命ス 海軍中佐 内田 虎三郎

艦型機裝調査委員ヲ命ス(以上註明海軍省)

### ○ 艦船所在

▲印ハハホヲ  
指定ヲ要セス

○十二月十五日午前十時調

〔横須賀〕口香取、ト八雲、ト金剛、相模、朝日、武藏、

安藝、笠置、松江、津輕、壹岐、山彦、巨彌生、

海軍公報第七百五號 大正三年十二月十五日

吹雪、霞、有明、霧雲、如月、響、初霜、巨神風、  
巨鴻、雄、鷗、白鷹、巨夕霧、陽炎、栗橋丸、遠江丸、  
神奈川丸、巨水七一、水六八、水六七、水七〇

〔横濱〕

〔清津〕

〔大湊〕

〔室蘭〕

〔函館〕

〔吳〕

〔丹後〕

〔巨潮〕

〔巨春風〕

〔菊月〕

〔潛一〕

〔潛二〕

〔潛三〕

〔潛四〕

〔潛五〕

〔神戶〕

〔門司〕

〔舞鶴〕

〔千鳥〕

口攝津、河内、常磐、ト春日、石見、淀、  
丹後、富士、榛名、扶桑、嚴島、宗谷、ト阿蘇、  
巨潮、若葉、朝風、子日、村雨、巨夕風、疾風、追風、  
巨春風、初春、時雨、初雪、巨水無月、卯月、長月、  
菊月、巨水五八、水五九、韓崎、巨潛一〇、潛一一、  
潛一二、潛一三、椅子山丸、潛一、潛二、潛六、  
潛七、巨潛四、潛三、潛五、硯海丸、歷山丸

龍田

大和

周防、鹿島、三笠、吾妻、見島、巨真鶴、  
千鳥、鶴

【敦賀】

佐世保、利根、薩摩、明石、霧島、敷島、宇治、

【長】

最上、白霧、三日月、夕暮、夕立、野分、

【仁】

白雲、松風、朝潮、白雲、不知火、薄雲、

【旅】

猿橋丸、雲雀、熊野丸

【上】

川、鷺、鶉

【青】

順、雁、鴿、蒼鷹、燕、白銀丸、辨天丸

【某方面】

海、隅田、伏見、鳥羽

【航海中】

島、嵯峨、文月丸、皋月丸、卷雲丸、漣丸、霞丸、

新高

淀橋丸、敷波丸、水六〇、水六一、水七三、水七二、

新高

水七四、水七五、關東丸

新高

八幡丸

新高

鳥取丸、幸霧丸、彼南丸、南海丸、鎌倉丸、加賀丸、

新高

磐手丸

新高

出雲、肥前、淺間

新高

鞍馬、生駒、筑波、矢矧、筑摩、山風、海風

新高

磐手、日進、伊吹、平戸

新高

鳥取丸、幸霧丸、彼南丸、南海丸、鎌倉丸、加賀丸、

新高

八幡丸

新高

鳥取丸、幸霧丸、彼南丸、南海丸、鎌倉丸、加賀丸、

新高

八幡丸

新高

鳥取丸、幸霧丸、彼南丸、南海丸、鎌倉丸、加賀丸、

新高

八幡丸

新高

鳥取丸、幸霧丸、彼南丸、南海丸、鎌倉丸、加賀丸、

新高

八幡丸

三池丸(十一月二十八日佐世保發)  
天拜山丸(二日「トラック」發「バラオ」ヲ經テ佐世保  
ハ)

對馬(九日馬公發)

鹿兒島丸(十日佐世保發「バラオ」ハ)

武州丸(十日佐世保發青島ハ)

千歲(十一日横須賀發舞鶴ハ)

豐橋丸(十三日大湊發横須賀ハ)

秋津洲(十三日佐世保發香港ハ)

音羽、櫻、橘、駒橋、潛八、潛九(十四日横須賀發鳥羽ハ)

千代田(十四日佐世保發旅順ハ)

友島丸(十四日青島發牛耳島ハ)

若宮丸(十四日横須賀發吳ハ)

高崎丸(十四日佐世保發吳ハ)

○雜款

○神奈川丸來二十日横須賀發「トラック」ニ直航同所ニ  
テ第一南遣枝隊ニ會合續テ第二南遣枝隊特別陸戰隊所  
在地ニ向フ

○旗艦變更

第二南遣枝隊司令官ハ十二月一日旗艦ヲ薩摩ヨリ磐手  
ニ變更セル旨報告アリ



○司令艇指定  
第二艇隊司令ハ本月十三日司令艇ヲ鴻ニ指定セリ

○郵便物送付先  
第二艦隊司令部、口香取、相摸宛

十二月十五日迄ニ到着見込ノモノハ  
同 十九日同 横須賀  
神戶

其以後ハ 佐世保

第二南遣枝隊司令部、ト磐手、日進及第六特別陸戰隊宛  
郵便物ハ自今横須賀郵便局氣付トス

軍艦秋津洲宛郵便物ハ佐世保郵便局氣付トス  
但小包郵便物ノミハ廣東日本郵便局氣付トス

水雷母艦熊野丸宛郵便物ハ自今臨時青島要港部氣付ト  
ス

○電報宛名

佛國大使館附丸山中佐ハ巴里ニ復歸セルニ付同官宛電  
報宛名左ノ通り

Kaigun Paris.

# 海軍公報

第七百六號

海軍大臣官房

大正三年十二月十六日(水)

## ○令達

官房第三六九二號ノ二  
 今般日獨事件ニ關シ失眠又ハ手足切斷等ノ軍人共ノ他  
 ノ者へ  
 皇后陛下 思召ヲ以テ義眼義手足 御下賜相成候旨  
 御沙汰被爲在候ニ付 思召貫徹候様可取計旨香川皇后  
 宮太夫ヨリ通知有之候條此旨厚ク奉體スヘシ  
 大正三年十二月十六日  
 海軍大臣 八代六郎

## ○通牒

軍第四一九號ノ三  
 大正三年十二月十六日  
 海軍省軍務局  
 海軍各廳御中  
 少將定員ニ對スル參謀長心得タル大佐ニ對スル  
 禮式及短艇敷物ノ件  
 本件ニ關シ吉田第二艦隊參謀長心得ヨリ質疑有之候ニ

對シ禮式ニ就テハ海軍禮式令第七十七條ノ場合ニ限リ  
 少將參謀長同等ノ禮式ヲ適用シ可然其ノ他ノ場合ニ於  
 テハ佐官ノ禮式ヲ適用スヘキ事又短艇敷物ハ艦長用即  
 チ「乙」ヲ用ウルヲ至當トスル旨回答セラレ候  
 右通牒ス

## ○辭令

海軍技手 鈴木 友吉  
 造船監督助手ヲ免シ舞鶴海軍工廠附ヲ命ス  
 海軍技手 辻 生一  
 海軍艦政本部附兼造兵監督助手ヲ免シ吳海軍工廠附ヲ  
 命ス  
 海軍技手 石川 増藏  
 横須賀海軍工廠附ヲ免シ海軍艦政本部附ヲ命ス  
 海軍技手 古川 元市  
 文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス  
 (以上并請海軍省)  
 主理 松岡 開  
 海軍警查及海軍監獄看守採用試験委員長ヲ命ス

海軍公報第七百六號 大正三年十二月十六日

八七五

主理 尾畑 義郎  
海軍警査及海軍監獄看守採用試験委員ヲ命ス(以上封詰  
海軍省司法局)

海軍少佐 野村 與一  
驅逐艦杉ノ儀裝ニ從事スヘシ

海軍少佐 巨勢 泰八  
驅逐艦桐ノ儀裝ニ從事スヘシ(以上封詰海軍艦政本部長)

○ 雜款

○ 電話架設

赤坂區高樹町十二番地第七號

芝二〇六五番 海軍軍令部參謀 堀内 三郎

(秘外部)

海軍公報 第七百六號

大正三年十二月十六日(水)

海軍大臣官房

○艦船所在

▲印ハ、ハホノ  
指定ヲ要セス

○十二月十六日午前十時調

【横須賀】口香取、ト八雲、ト金剛、滿州、相摸、朝日、  
武藏▲、安藝▲、笠置、松江、津輕▲、壹岐▲、山彦、  
口彌生、吹雪、蔽、有明、霞雲、如月、響、初霜、  
口神風、口鴻、雄、鷗、白鷹、口夕霧、陽炎、栗橋丸、  
遠江丸、神奈川丸、豊橋丸、口水七一、水六八、  
水六七、水七〇

【津】比叡

【清】水 橋立

【鳥】羽 ト音羽、口櫻、橘、駒橋、潜八、潜九

【大】濠 千早、曙▲、口水六六

【室】蘭 口龍

【函】館 水二九

【吳】口攝津、河内、常磐、ト春日、石見、淀▲、  
丹後、富士、樺名、扶桑、嚴島、宗谷、ト阿蘇、  
口潮、若葉、朝風、子日、村雨、口夕風、疾風、追風、  
口春風、初春、時雨、初雪▲、口水無月▲、卯月▲、長月▲

海軍公報第七百六號

大正三年十二月十六日

【神】戸 龍田

【門】司 大和

【舞】鶴 千歲、周防、鹿島▲、三笠、吾妻、見島▲、  
口真鶴、千鳥▲、鶴▲

【敦】賀 集

【佐】世保 ト利根▲、薩摩、明石、霧島▲、宇治▲、須磨▲、  
沖島▲、口浦波▲、朝霧▲、磯波▲、綾波▲、最上▲、  
口白露、三日月、夕暮、夕立、口野分▲、白雪▲、  
松風▲、口朝潮、白雲、口不知火、薄雲、猿橋丸、  
雲雀、熊野丸

【寺】島水道 敷島

【長】崎 鷺▲

【旅】順 白銀丸、辨天丸

【大】連 口雁、鶴、蒼鷹、燕

【上】海 阴田、伏見、鳥羽

【青】島 蟬峨、文月丸、皐月丸、卷雲丸、颯丸、霞丸、  
淀橋丸、敷波丸、水六〇、水六一、水七三、水七二

二四七

【某方面】

巨水七四、水七五、關東丸

ト出雲、肥前、淺間

ト鞍馬、生駒、筑波、矢矧、筑摩、巨山風、海風

ト磐手、日進、伊吹、平戸

鳥取丸、幸壽丸、彼南丸、南海丸、鎌倉丸、加賀丸、八幡丸

【航海中】

新高(十一月二十八日馬公發)

三池丸(十一月二十八日佐世保發)

天拜山丸(二日)トラック發、バラオヲ經テ佐世保

ト對馬(九日馬公發)

鹿兒島丸(十日佐世保發、バラオヘ)

秋津洲(十三日佐世保發香港ヘ)

千代田(十四日佐世保發旅順ヘ)

若宮丸(十四日横須賀發吳ヘ)

高崎丸(十四日佐世保發吳ヘ)

巨鷗、鶉(十五日仁川發旅順ヘ)

友島丸(十五日牛耳島發八浦ヘ)

武州丸(十五日青島發佐世保ヘ)

○雜款

○司令驅逐艦變更

第三驅逐隊司令驅逐艦ヲ本月五日如月ヨリ神風ニ變更セル旨報告アリ

○郵便物送附先

練習艦隊司令部、ト阿蘇及宗谷宛

十二月十八日迄ニ到着見込ノモノハ 江田島

同 二十八日同 有明灣

軍艦千代田宛 旅順

軍艦三笠宛 佐世保

○練習艦笠置航路豫定表

地名	着月日	發月日
横須賀	十二月十六日	十二月十六日
横濱	十二月二十八日	十二月二十八日
津賀(鳥羽)	一月七日	一月六日
大坂	一月十二日	一月十一日
神戸	一月十八日	一月十八日
四島	一月十八日	一月十八日
吳島	二月二十三日	二月二十三日
江田	二月二十三日	二月二十三日
徳山	二月二十三日	二月二十三日
博多	二月二十三日	二月二十三日
佐保	二月二十三日	二月二十三日
長崎	二月二十三日	二月二十三日
鹿島	二月二十八日	二月二十七日
中島	三月十一日	三月九日
基隆	三月十一日	三月九日
馬公	三月十六日	三月十五日
香港	三月十九日	三月十八日
青島	三月十九日	三月十八日
威海衛	三月十九日	三月十八日
旅順	三月十九日	三月十八日
大連	三月十九日	三月十八日
鎮南浦	三月十九日	三月十八日

地名	着月日	發月日
仁川	五月三十日	五月四日
釜山	五月十六日	五月十五日
佐保	五月十五日	五月十五日
舞鶴	五月十八日	五月十八日
新館	五月三十一日	五月二十九日
函館	六月九日	六月八日
大湊	六月十三日	六月十二日
室蘭	六月十六日	六月十五日
釜石	六月十六日	六月十五日
横須賀	七月八日	七月五日
仁川	七月十二日	七月十日

備考  
アルヘシ  
天候其ノ他ノ都合ニ依リ多少變更スルコト

海軍公報第七百六號

大正三年十二月十六日

二四九

# 海軍公報

第七百七號

大正三年十二月十七日(木)

海軍大臣官房

## ○通牒

官房第三七〇六號

大正三年十二月十七日

海軍省副官 谷口 尙真

在京各廳長殿

神尾前獨立第十八師團長明十八日午前十時三十分東京驛着入京可相成ニ付公務ニ差支ナキ限り各廳高等官ヲシテ同驛ニ出迎セシメラレ度

服裝 武官 軍裝 帶勳  
文官 適宜

右依命申進ス

追テ出迎位置(特ニ參謀本部)ハ驛ニ面シ右方ノ入口ヨリ入りタル三番線ニ接スル所ニシテ神尾師團長ハ同線ヨリ下車右入口ヨリ出ララル筈

## ○辭令

海軍技手 谷元 正吉

關東丸乗組ヲ免シ遣兵監督助手ヲ命ス

海軍技手 谷元 正吉

英國へ出張ヲ命ス(以上註明海軍省)  
海軍軍醫學校海軍防疫學教授助手囑託

小川 義士  
自今報酬月額拾參圓五拾錢ヲ贈與ス(時海軍省醫務局)

海軍公報第七百七號

大正三年十二月十七日

八七七

1333

(秘外部)

海軍公報 第七百七號

大正三年十二月十七日 木

海軍大臣官房

○艦船所在

▲印ハ、ハ、ホフ  
指定ヲ要セス

○十二月十七日午前十時調

〔横須賀〕ト八雲▲、ト金剛、滿州、朝日、武藏、安藝▲、

松江、津輕▲、香岐▲、山彦、巨彌生、吹雪、霞、有明、

霧雲、如月、響、初霜、巨神風、巨鶴、雉、鷗、白鷹、

巨夕霧、栗橋丸、遠江丸、神奈川丸、豊橋丸、

巨水七一、水六八、水六七、水七〇

〔横濱〕笠置

〔津〕比叡

〔清水〕橋立

〔大湊〕千早、曙▲、巨水六六

〔室蘭〕巨隴

〔函館〕水二九

〔吳〕巨攝津、河内、常磐、ト春日▲、石見、淀▲、

丹後、富士、扶桑、嚴島、宗谷、ト阿蘇、巨潮、

若葉、朝風、子日、村雨、巨夕風、疾風、追風、

巨春風、初春、時雨、初雪▲、巨水無月▲、卯月▲、長月▲、

菊月▲、韓崎、巨潜一〇、潜一一、潜一二、潜一三、

椅子山丸、潜一、潜二、潜六、潜七、巨潜四、潜三、

潜五、硯海丸、懸山丸、高崎丸

〔神戶〕龍田

〔門司〕大和

〔舞鶴〕千歲、周防、鹿島▲、吾妻▲、見島▲、巨鶴▲、

千鳥▲、真鶴▲

〔敦賀〕千早

〔佐世保〕ト利根▲、薩摩、明石、霧島▲、真磨▲、沖島▲、

巨浦波▲、朝霧▲、磯波▲、綾波▲、最上▲、巨白露▲、

三日月、夕暮、夕立、巨野分▲、白雪▲、松風▲、

巨朝潮、白雲、猿橋丸、雲雀

〔寺島水道〕敷島

〔長崎〕鷺▲

〔旅順〕白銀丸、辨天丸

〔大連〕巨鶴、鶉

〔上海〕巨海、伏見、鳥羽

〔青島〕嵯峨、文月丸、草月丸、卷雲丸、漣丸、霞丸、

淀橋丸、敷波丸、水六〇、水六一、水七三、水七二、

巨水七四、水七五、關東丸

〔某方面〕

ト出雲、肥前、淺間

海軍公報第七百七號 大正三年十二月十七日

二五一

1334



▷鞍馬、生駒、筑波、矢矧、筑摩、山口山風、海風  
 ▷磐手、日進、伊吹、平戸  
 鳥取丸、幸壽丸、彼南丸、南海丸、鎌倉丸、加賀丸、  
 八幡丸

【航海中】

新高(十一月二十八日馬公發)  
 三池丸(十一月二十八日佐世保發)  
 天拜山丸(二日「トラック」發「バラオ」ヲ經テ佐世保  
 へ)  
 ▷對馬(九日馬公發)  
 鹿兒島丸(十日佐世保發「バラオ」へ)  
 秋津洲(十三日佐世保發香港へ)  
 千代田(十四日佐世保發旅順へ)  
 若宮丸(十四日橫須賀發吳へ)  
 友島丸(十五日牛耳島發八浦へ)  
 武州丸(十五日青島發佐世保へ)  
 ▷不知火、薄雲(十六日佐世保發三津ヶ濱へ)  
 練名、口水五八、水五九、十六日吳發神戸へ)  
 ▷香取、相摸(十六日橫須賀發津へ)  
 陽炎(十六日橫須賀發)  
 ▷雁、蒼鷹、鶴、燕(十六日大連發佐世保へ)  
 三笠(十六日舞鶴發伊萬里灣へ)

○雜款

▷字治、熊野丸(十七日佐世保發青島へ)  
 ▷音羽、櫻、橘  
 駒橋、潛八、潛九(十七日鳥羽發大阪へ)

○練習艦隊阿蘇、宗谷航路豫定表

地名	着月日	發月日
江田内	十二月二十日	十二月十九日
有明灣	十二月三十日	十二月二十九日
鹿兒島灣	一月四日	十一月三日
三池	一月六日	十一月五日
長崎	一月八日	十一月七日
佐世保	一月九日	十一月八日
青島	一月二十四日	十一月二十二日
旅順	一月二十四日	十一月二十二日
大連	一月二十八日	十一月二十六日
仁川	二月二日	十二月一日
鎮海	二月八日	十二月六日
舞鶴	二月二十七日	十二月二十五日
神戸	三月六日	一月二日
大阪	三月八日	一月四日
津	三月十四日	一月十日
港水	三月十四日	一月十日
橫須賀	三月二十七日	一月二十三日

○司令艇指定  
坂元第十四艇隊司令ハ本月十二日司令艇ヲ鵠ニ指定セ  
ル旨報告アリ

○艦船歸着豫定  
第一南遣枝隊ハ諸艦合同ノ後「スバ」發一月中旬横須賀  
歸着ノ豫定

伊吹ハ來ル二十七日吳歸着ノ豫定

○懲罰

懲罰言渡書

○訂正  
本月十五日部外秘公報郵便物送付先中第六特別陸戰隊  
ノ分ヲ左ノ通訂正ス(横鎮公報ニ依ル)  
横須賀海軍港務部氣付  
第六

# 海軍公報

第七百八號

大正三年十二月十八日(金)

海軍大臣官房

## ○令達

官房第三七一五號

臨時軍事費整理規程別表科目表中左ノ細別ヲ追加ス

大正三年十二月十八日

海軍大臣 八代六郎

## ○通牒

經牒第五三九號

大正三年十二月十八日

海軍省經理局長 志佐 勝

各廳長 殿

青島ニ中央金庫常設派出所設置該金庫ニ於テ軍票ヲ圓銀ト引換方ノ件ニ付別紙ノ通大藏大臣ヨリ通牒有之候右通知ス

(別紙)

官房秘乙第一七六五號

大正四年一月十五日ヨリ青島ニ中央金庫常設派出所設置ニ付該金庫ニ於テ軍票ヲ圓銀ト引換方ニ關シ別紙之通リ金庫出納役へ相達候ニ付此段及御通知候也  
大正三年十二月十六日

大藏大臣 若槻禮次郎

海軍大臣 八代六郎 殿

(別紙)

八七九

## 臨時軍事費科目表

款	項	目	細別	備考
臨時軍事費	臨時軍事費	造船造兵及修理費	艦船引揚費	和文 信略 電略 電略 電略 文
			六	
			ル	
			1	
			3	

海軍公報第七百八號

大正三年十二月十八日

官房秘乙第一七六四號

金庫出納役

大正四年一月十五日ヨリ青島ニ中央金庫常設派出所設  
置ニ付該金庫ヘ軍票ヲ持參シ圓銀ト交換ノ請求アリタ  
ルトキハ同一價格ヲ以テ引換方取計フヘシ  
大正三年十二月十六日 大藏大臣

艦本第五九三五號

大正三年十二月十八日

海軍艦政本部長 村上 格一

各鎮守府司令長官殿  
各工廠長殿

大阪地方指定工場中削除ノ件

大正元年十二月二十日艦本第一八五三號ヲ以テ及通牒  
置候大正元年十二月十日官房第三五〇號決裁海軍工廠  
ヨリ内國私立工場ヘ依托ノ製造工事監督ニ關スル件備  
考工場中二五、神戶製鋼所」ヲ削除シ明治四十五年三月  
十四日艦本第一〇二二號通牒大阪駐在造船監督官服務  
内規第十一條七私立工場中「神戶製鋼所」ヲ削除ス  
右通牒云

○辭令

歸朝ヲ命ス

海軍技手 吉川 斧吉

海軍警査ヲ命ス  
月俸拾貳圓ヲ給ス

勳七等功七級 香澤 皆藏

舞鶴鎮守府軍法會議附ヲ命ス(以上特許海軍省)

海軍技手 石川 増藏  
第四部附ヲ命ス(特許海軍艦政本部)

○雜款

○轉官

海軍技手勝田英夫ハ本月十日遞信省通信書記補ニ轉官  
セリ

(秘 外 部)

海軍公報 第七百八號

大正三年十二月十八日(金)

海軍大臣官房

○通牒

艦本第五九三四號

大正三年十二月十八日

海軍艦政本部長 村上 格 一

各鎮守府、艦隊司令長官殿  
各要港部、艦隊司令官殿

石炭供給割増ノ件

明治四十五年七月艦本第二六九九號申牒ニ依ル本件ヲ  
廢止ス右通牒ス 綴

○艦船所在

▲印ハ一ハホン  
指定ヲ要セズ

○十二月十八日午前十時調

【横須賀】ト八雲▲、ト金剛▲、朝日▲、武藏安藝▲、松江▲、  
津輕▲、壹岐▲、山彦▲、巨幡生▲、吹雪▲、霞▲、有明▲、夕霧▲、  
如月▲、響▲、初霜▲、巨神風▲、巨鴻▲、雄鷗▲、白鷹▲、巨叢雲▲、  
栗橋丸▲、遠江丸▲、神奈川丸▲、豊橋丸▲、巨水七一▲、  
水六八▲、水六七▲、水七〇▲  
【横濱】 笠置▲、滿州▲

【清】 水 橋立

【大】 濠 曙▲、巨水六六

【室】 蘭 巨龍▲、千早

【函】 館 水二九

【吳】 巨攝津▲、河内▲、常磐▲、ト春日▲、石見▲、淀▲、  
丹後▲、富士▲、扶桑▲、嚴島▲、村雨▲、巨夕風▲、疾風▲、追風▲、

巨初雪▲、初春▲、時雨▲、春風▲、薄雲▲、巨水無月▲、卯月▲、  
長月▲、菊月▲、巨水五八▲、水五九▲、韓崎▲、巨潜一〇▲、

潜一▲、潜二▲、潜三▲、椅子山丸▲、潜二▲、  
潜六▲、潜七▲、巨潜四▲、潜三▲、潜五▲、硯海丸▲、歷山丸▲、  
高崎丸▲、若宮丸▲

【江田島】 ト阿蘇▲、宗谷

【神戶】 龍田▲、榛名

【門司】 大和

【舞鶴】 千歲▲、周防▲、鹿島▲、吾妻▲、見島▲、巨鶴▲、  
千鳥▲、真鶴▲

【敦賀】 集

【佐世保】 ト利根▲、薩摩▲、明石▲、霧島▲、須磨▲、沖島▲、  
巨浦波▲、朝霧▲、磯波▲、綾波▲、最上▲、巨白露▲、  
三日月▲、夕暮▲、夕立▲、巨野分▲、白雪▲、松風▲、

海軍公報第七百八號 大正三年十二月十八日

二五五

1339

猿橋丸、雲雀

【神】浦 宇治

【寺島水道】敷島

【馬】公 辰朝潮、白雲

【旅】順 千代田、巨鷲、鶴、白銀丸、辨天丸

【上】海 隅田、伏見、鳥羽

【青】島 嵯峨、文月丸、皐月丸、卷雲丸、漣丸、霞丸、

淀橋丸、敷波丸、水六〇、水六一、水七三、水七二

水七四、水七五、關東丸

【某方面】

ト出雲、肥前、淺間

ト鞍馬、生駒、筑波、矢矧、筑摩、口山風、海風

ト磐手、目進、伊吹、平戸

鳥取丸、彼南丸、南海丸、鎌倉丸、加賀丸、八幡丸

【航海中】

新高(十一月二十八日馬公發)

三池丸(十一月二十八日佐世保發)

天拜山丸(二日、トラツク發、バラオヲ經テ佐世保へ)

ト對馬(九日馬公發)

鹿兒島丸(十日佐世保發、バラオへ)

秋津洲(十三日佐世保發香港へ)

友島丸(十五日牛耳島發八浦へ)

武州丸(十五日青島發佐世保へ)

陽炎(十六日横須發)

ト雁、蒼鷹、鶴、巖(十六日大連發佐世保へ)

三笠(十六日舞鶴發伊萬里灣へ)

龍野丸(十七日佐世保發青島へ)

ト音羽、巨櫻、橘(十七日鳥羽發大阪へ)

駒橋、潛八、特丸(十七日津發吳へ)

比叡(十七日津發吳へ)

鷲(十七日長崎發佐世保へ)

ト潮、若葉、朝風、子日(十七日神戸發吳へ)

幸壽丸(十七日、ヌメヤ發、トラツクヲ經テ横須賀へ)

ト不知火(十八日三津ヶ濱發多度津へ)

ト香取、相模(十八日津發神戸へ)

○ 雜款

○ 旗艦指定

近藤第二水雷戰隊司令官ハ本月十六日若任旗艦ヲ利根

ニ指定セル旨報告アリ

○ 司令驅逐艦變更

松下第六驅逐隊司令心得ハ本月十三日司令驅逐艦ヲ春

風ヨリ初雪ニ變更セル旨報告アリ

筒井第三驅逐隊司令心得ハ本月十五日司令驅逐艦ヲ夕

霧ヨリ叢雲ニ變更セル旨報告アリ

○運送船若宮丸航路豫定表

寄港地	入港日時	出港日時
佐世保	十二月二十一日午前	十二月二十四日午後四時
馬公	十二月二十九日午前	二月二日午前
佐世保	一月六日午後	十日午後四時
永興	同	同
鎮海	同	同
佐世保	同	同
吳	同	同
橫須賀	同	同
大湊	同	同
舞鶴	同	同
佐世保	同	同
旅順	同	同
鎮海	同	同
佐世保	同	同

海軍公報第七百八號

大正三年十二月十八日

二五七

# 海軍公報

第七百九號

海軍大臣官房

大正三年十二月十九日(土)

## ○令達

官房第三七三〇號

今般日獨事件ニ關スル負傷者へ  
皇后陛下ヨリ義眼義手足 恩賜ノ 御沙汰有之候ニ付  
テハ其ノ取扱手續ハ明治三十七年官房第一一九九號ニ  
準據スル儀ト心得ヘシ  
大正三年十二月十九日  
海軍大臣 八代六郎

## ○通牒

軍第四二五號ノ三

大正三年十二月十九日 海軍省軍務局

海軍各廳御中

將官相當官短艇敷物ニ關スル件

本件ニ付第一艦隊參謀ヨリ照會有之候ニ對シ將官相當  
官ニハ短艇敷物甲(將官用)ヲ使用シ差支ナキ旨回答セ  
ラレ候  
右通牒ス

海軍公報第七百九號 大正三年十二月十九日

## ○辭令

英國へ出張ヲ命ス 海軍上等兵曹 今野今朝三郎  
關東丸乘組海軍技手 山縣 尙三郎  
兼臨時青島要港部附ヲ命ス(以上尙前海軍省)



(秘 外 部)

海軍公報 第七百九號

大正三年十二月十九日(土)

海軍大臣官房

○通牒

官房機密第一四九五號ノ五  
遞信省所管潮岬及大瀬海岸局ニ於ケル海軍通信取扱  
之ヲ廢止セラル

大正三年十二月十九日

海軍省副官 谷口 尙真

○艦船所在

▲印ハ、ハ、ホフ  
指定ヲ要セス

○十二月十九日午前十時調

- 【横須賀】ト八雲▲、ト金剛▲、朝日▲、武藏▲、安藝▲、松江▲、津輕▲、壹岐▲、山彦▲、巨彌生▲、吹雪▲、霞▲、有明▲、夕霧▲、如月▲、響▲、初霜▲、巨神風▲、巨鴻▲、雉▲、白鷹▲、巨叢雲▲、栗橋丸▲、遠江丸▲、神奈川丸▲、豊橋丸▲、巨水七一、水六八、水六七、水七〇
- 【横濱】笠置▲、滿州
- 【大湊】曙▲、巨水六六
- 【室蘭】巨龍▲、千早
- 【函館】水二九

【吳】巨攝津、河内、常磐、ト春日▲、石見、淀▲、丹後、富士、扶桑、嚴島、村雨、巨夕風、疾風、追風、巨初雪▲、初春、時雨、春風、巨水無月▲、卯月▲、長月▲、菊月▲、巨水五八、水五九、韓崎、巨潜一〇、潜一、潜二、潜三、椅子山丸、潜一、潜二、潜六、潜七、巨潜四、潜三、潜五、硯海丸、歷山丸、高崎丸

【江田島】ト阿蘇、宗谷

【大阪】ト音羽、巨櫻、橘、駒橋、潜八、潜九

【神戶】龍田、榛名

【多度津】巨不知火、薄雲

【門司】大和

【舞鶴】千歲、周防▲、鹿島▲、吾妻▲、見島▲、巨鶴▲、單▲、千鳥▲

【敦賀】真鶴

【佐世保】ト利根▲、薩摩、明石、霧島▲、須磨▲、沖島▲、巨浦波▲、朝霧▲、磯波▲、綾波▲、最上▲、巨白露、三日月、夕暮、夕立、巨野分▲、白雪▲、松風▲、猿橋丸、雲雀、巨雁、蒼鷹、鶴、燕、天拜山丸、武州丸

海軍公報第七百九號

大正三年十二月十九日

二五九

【神 浦】 宇治

【寺島水道】 敷島

【馬 公】 巨朝潮、白雲

【旅 順】 千代田、巨鷗、鴉、白銀丸

【上 海】 阴田、伏見、鳥羽

【青 島】 嵯峨、文月丸、阜月丸、卷雲丸、謎丸、霞丸、淀橋丸、敷波丸、水六〇、水六一、水七三、水七二、水七四、水七五、關東丸

【某方面】

▷出雲、肥前、淺間

▷鞍馬、生駒、筑波、矢矧、筑摩、巨山風、海風

▷磐手、日進、伊吹、平戸

▷鳥取丸、彼南丸、南海丸、鎌倉丸、加賀丸、八幡丸、鹿兒島丸

▷新高(十一月二十八日馬公發)

▷三池丸(十一月二十八日佐世保發)

▷對馬(九日馬公發)

▷秋津洲(十三日佐世保發香港へ)

▷友島丸(十五日牛耳島發八浦へ)

▷陽炎(十六日横須賀發)

【航海中】

▷三笠(十六日舞鶴發伊萬里灣へ)

▷熊野丸(十七日佐世保發青島へ)

▷比叡(十七日津發吳へ)

▷敷(十七日長崎發佐世保へ)

▷巨潮、若葉、朝風、子日(十七日神戶發吳へ)

▷幸壽丸(十七日ヌメヤ發トラツクヲ經テ横須賀へ)

▷巨香取、相摸(十八日津發神戶へ)

▷辨天丸(十八日旅順發青島へ)

▷橋立(十九日清水發横須賀へ)

▷若宮丸(十九日吳發佐世保へ)

# 海軍公報

第七百十號

海軍大臣官房

大正三年十二月二十一日(月)

## ○通牒

官房第三七四七號

大正三年十二月二十一日

海軍省副官 谷口 尙真

## 各廳長殿

報告先訓令先等ノ文書ニ附記ノ件  
海軍部内往復文書様式中ニ(訓令先何々又ハ命令先何々)及(報告先何々)進達先何々ト附記スルノ規定有之候處該附記ヲ必要トスル文書ニシテ往々記載ナキモノアリ執務上彼此不便不勤候條爾今是等ノ文書ニハ必ず附記スルコトニ御取斗相成度  
右申進ス

官房第三七四二號

左記ノ通第三艦隊司令官ノ上申ニ對シ指令セラレタリ  
右通牒ス

大正三年十二月二十一日

海軍省副官 谷口 尙真

海軍公報第七百十號 大正三年十二月二十二日

第三艦隊司令官電報上申(大正三年十二月十六日)  
大海令第五十九號ニ基キ行動スル當隊各艦ニ對シ香港以南ニ在ル間ニ限り本年六月官房第一七六五號ニ準シ糧食冷蔵用水ヲ直買シ得ル機特ニ御認許相成度  
電報指令(大正三年十二月二十日)

十二月十六日上申糧食冷蔵用水直買ノ件ハ製氷機ノ設備ナキ軍艦ニ限り必要ナル期間一艦月額金參拾圓ヲ限度トシ認許ス

## ○辭令

通信書記兼海軍技手

同

同

(各通)

通信書記補兼海軍技手

同

免兼官

免兼海軍技手

遞信局技手兼通信書記海軍技手

横江 鐵次郎

大月 貞矣

黒田 致良

馬淵 孝吉

大塚 強太郎

後藤 秀吉

阿久津 修司

八八三

(各通)

海軍技手 井上 長繁  
 同 平田 勝賢  
 同 今村 兼彦  
 同 清水 久太郎  
 文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス  
 (以上林海軍省)

○ 雜款

○ 滯在地變更

海軍少佐野田爲良ハ東京ニ滯在地變更ノ儀十二月十九日認許セラレタリ

海軍大佐高木東太郎ハ横須賀ニ滯在地變更ノ儀十二月十九日認許セラレタリ

○ 死去

後備役海軍上等兵曹從七位勳六等後藤幸平ハ本月十日死去セタリ

# 海軍公報 第七百十號

大正三年十二月二十一日(月)  
海軍大臣官房

## ○通牒

官房第三七四五號

大正三年十二月二十一日

海軍省副官 谷口 尙真

鎮守府、要港部司令部御中  
艦隊、枝隊

無線電信成績表ノ件

本年官房第三五三三號ニ據ル右件ハ本戰役初頭ヨリノ分ヲモ含ミ報告提出セシメラルル義ト御了知相成度右申進ス

## ○艦船所在

▲印ハハホンノ指定ヲ要セス

○十二月二十一日午前十時調

【横須賀】ト八雲▲ト金剛、朝日、橋立、武藏、安藝▲、松江、津輕▲、壹岐▲、陽炎、山彦、ト彌生、吹雪、蔽、有明、夕霧、ト鴻、雉、鷗、白鷹、ト叢雲、栗橋丸、高崎丸、ト水七一、水六八、水六七、水七〇

海軍公報第七百十號

大正三年十二月二十一日

【廣】	濱	笠置、滿州
【大】	湊	曙、ト水六六
【室】	蘭	ト水六六
【函】	館	水二九
【吳】	口攝津、河内、常磐、ト春日▲、石見、淀▲、丹後、富士、扶桑、嚴島、村雨、ト夕風、疾風、追風、ト初雪▲、初春、時雨、春風、ト水無月▲、卯月▲、長月▲、菊月▲、ト水五八、水五九、韓崎、ト潜一〇、潜一、潜二、潜三、椅子山丸、潜一、潜二、潜六、潜七、ト潜四、潜三、潜五、硯海丸、懸山丸、ト龍田、榛名	
【神】	戸	龍田、榛名
【大】	阪	ト不知火、薄雲
【弓削島】	ト櫻、橘	
【門司】	大和	
【舞鶴】	千歲▲、周防▲、鹿島▲、吾妻▲、見島▲、ト鶴▲、集▲、千鳥▲	
【敦賀】	眞鶴	
【佐世保】	ト利根▲、薩摩、霧島▲、須磨▲、沖島▲、ト浦波、朝霧、磯波、綾波、最上▲、ト白鷺、三日月、夕暮、夕立、ト野分▲、白雪▲、松風▲	

猿橋丸、雲雀、鷲、巨雁、蒼鷹、鶴、燕、天拜山丸、武州丸

【志布志】 卜阿蘇、宗谷

【寺島水道】 敷島

【馬公】 巨朝潮、白雲

【旅順】 巨鶴、鶉、白銀丸

【上海】 隅田、伏見、鳥羽

【青島】 文月丸、皋月丸、卷雲丸、漣丸、靨丸、淀橋丸、敷波丸、水六〇、巨水六一、水七三、水七二、巨水七四、水七五、辨天丸、關東丸

【利根灣】 嵯峨

【某方面】 出雲、肥前、淺間

▷鞍馬、生駒、筑波、矢矧、筑摩、巨山風、海風

▷磐手、日進、伊吹、平戸

鳥取丸、彼南丸、南海丸、鎌倉丸、加賀丸、八幡丸、鹿見島丸

【航海中】

新高(十一月二十八日馬公發)

三池丸(十一月二十八日佐世保發)

▷對馬(九日馬公發)

秋津洲(十三日佐世保發)

友島丸(十五日牛耳島發八浦へ)

熊野丸(十七日佐世保發青島へ)

比叡(十七日津發吳へ)

巨潮、若葉、朝風、子日(十七日神戸發吳へ)

幸壽丸(十七日、ヌメヤ發、トラツクエラ經テ横須賀へ)

若宮丸(十九日吳發佐世保へ)

明石(十九日佐世保發)

巨神風、初霜、如月、響(十九日横須賀發佐世保へ)

豐橋丸(十九日横須賀發)

千代田(十九日旅順發芝罘へ)

宇治(十九日神浦發青島へ)

▷音羽、駒橋、潛八、潛九(二十日大阪發吳へ)

遠江丸、神奈川丸(二十日横須賀發)

▷香取、相摸(二十日神戸發佐世保へ)

三笠(二十一日今福發佐世保へ)

○雜款

○郵便物送付先

第二驅逐隊宛

佐世保

軍艦霧島宛

十二月二十二日迄ニ到着見込ノモノハ

其ノ以後ハ

佐世保  
長崎

○通信

第三艦隊司令部及對馬、新高、秋津洲、明石宛ノ電報ハ  
當分ノ間馬公要港部氣附ニテ打電ヲ要ス

長崎勞山灣間軍用電信通信取扱ハ本月二十日限り廢止  
ニ付自今内地青島間ノ有線電信ハ大連經由ヲ要ス

海軍公報第七百十號

大正三年十二月二十二日

二六三

1349

# 海軍公報

第七百十一號

大正三年十二月二十二日(火)

海軍大臣官房

## ○辭令

海軍警査ヲ命ス 勳七等功七級 伊藤 初藏  
月俸拾參圓ヲ給ス

東京軍法會議附ヲ命ス(以上<sup>註</sup>海軍省)  
海軍警査 伊藤 初藏

## ○雜款

○着任  
經理局局員佐野主計大監昨二十一日着任

海軍公報第七百十一號

大正三年十二月二十二日

八八五

1350



(秘 外 部)

海軍公報 第七百十一號

海軍大臣官房

大正三年十二月二十二日(火)

○艦船所在

▲印ハハホス  
指定ヲ要セス

○十二月二十二日午前十時調

【横須賀】▶八雲▲、▶金剛、朝日、橋立、武藏、安藝▲、  
松江、津輕▲、壹岐▲、陽炎、山彦、巨彌生、吹雪、霞、  
有明、夕霧、巨鴻、雉、鷗、白鷹、巨叢雲、栗橋丸、  
高崎丸、巨水七二、水六八、水六七、水七〇

【横濱】 笠置、滿州

【大湊】 曙、巨水六六

【室蘭】 巨龍、千早

【函館】 水二九

【奥】 ▶攝津、河内、比叡、常磐、▶春日▲、石見、  
淀▲、丹後、富士、扶桑、嚴島、村雨、巨夕風、疾風、  
追風、巨初雪▲、初春、時雨、春風、巨水無月▲、  
卯月▲、長月▲、菊月▲、韓崎、巨潛一〇、潛一一、  
潛一二、潛二三、椅子山丸、潛一、潛二、潛六、  
潛七、巨潛四、潛三、潛五、硯海丸、腰山丸

【佐賀ノ關】 巨水五八、水五九

【神戶】 龍田、榛名

【多度津】 巨神風、初霜、如月、響

【門司】

大和、千歲▲、周防▲、鹿島▲、吾妻▲、見島▲、  
第▲、千鳥▲、真鶴

【敦賀】

巨鶴、巨保、▶利根▲、三笠、薩摩、霧島、須磨▲、沖島▲、  
巨浦波、朝霧、磯波、綾波、最上▲、巨白露、三日月、  
夕暮、夕立、巨野分▲、白雪▲、松風▲、猿橋丸、雲雀、  
鷲、巨雁、鶴、天拜山丸、武州丸、若宮丸

【長崎】

蒼鷹、▶阿蘇、宗谷

【志布志】

敷島

【寺島水道】

巨朝潮、白雲

【馬公】

巨鶴、鷗、白銀丸

【旅順】

巨田、伏見、鳥羽

【上海】

千代田、宇治、嵯峨、文月丸、皐月丸、  
卷雲丸、漣丸、霞丸、熊野丸、淀橋丸、敷波丸、  
水六〇、巨水六一、水七三、水七二、巨水七四、  
水七五、辨天丸、關東丸

【某方面】

▶出雲、肥前、淺間

海軍公報第七百十一號 大正三年十二月二十二日

二六五

1351

▷鞍馬、生駒、筑波、矢矧、筑摩、江山風、海風

▷磐手、日進、伊吹、平戸

鳥取丸、彼南丸、南海丸、鎌倉丸、加賀丸、八幡丸、鹿兒島丸

【航海中】

新高(十一月二十八日馬公發)

三池丸(十一月二十八日佐世保發)

▷對馬(九日馬公發)

秋津洲(十三日佐世保發)

友島丸(十五日牛耳島發八浦へ)

▷潮、若葉、朝風、子日(十七日神戸發吳へ)

幸壽丸(十七日、メメヤ發、トラツクヲ經テ横須賀へ)

明石(十九日佐世保發)

▷豐橋丸(十九日横須賀發)

▷音羽、駒橋、潛八、潛九(二十日大阪發吳へ)

遠江丸、神奈川丸(二十日横須賀發)

▷香取、相摸(二十日神戸發佐世保へ)

▷櫻、橘(二十一日月削島發)

▷不知火、薄雲(二十一日大阪發横須賀へ)

# 海軍公報

第七百十二號

大正三年十二月二十三日(水)

海軍大臣官房

## ○通牒

海軍諸  
刑登

官房第三七五八號

大正二年六月六日附官房第一五九二號外國軍艦入港許可ニ關スル諸威國勅令(第一版海軍諸刑則)ノ一部本年八月二十一日及九月十一日ノ同國勅令ニテ左ノ通改正アリタル趣外務省ヨリ通牒有之候

大正三年十二月二十三日

海軍省副官 谷口 尙真

第二條 左ニ掲クル諸威國沿岸ノ區域ヲ以テ現ニ王國ノ軍港文ハ製港ト看做ス

- 一 Kristiana 灣、Tonsberg Fjorde、Fæder 燈臺、Torbjørnskjær 燈臺、Asmalø、Vikerlangen、Strjobergkilenノ東岸、Asholmト連絡スル線以內ノ海面ヲ含ム
- 二 Kristiansand 港、Fredrikshavn、Oslo 燈臺、Grønningen 燈臺、Forsø 燈臺以內ノ海面ヲ含ム
- 三 Bergen 港及港口、Fornes (Lygne 灣ノ東岸)、Helisø 燈臺、Tekslen (Kors 灣ノ北岸)、Lyse

海軍公報第七百十二號

大正三年十二月二十三日

八八七

- 四 Kloster 會堂ヲ連絡スル線ノ以內、Trondhjens 灣、Agdenes 燈臺及 OrlandetノHordelaaen 以內
- 五 Vardø 港

第七條 外國軍艦ノ乘員ハ王國ノ港及領海ノ海圖若クハ原圖ヲ作製、増加又ハ發行シ又ハ普通航路上ニ於テ航行保安ノ爲必要ナリト認ムヘキモノ、外測量又ハ錘測ヲ爲スコトヲ得ス

外國軍艦ノ乘員ハ諸威國要塞又ハ附屬建物ノ平面圖、略圖、原圖、寫影若クハ記事ヲ作製、増加又ハ發行スルヲ得ス

(千九百十四年八月十八日軍機法第三條參看)

大正三年十二月二十三日 海軍兵學校

各艦艇御中

航海年表ノ件

生徒教授上必要有之候條大正三年度航海年表御寄贈相

願度 右御依頼ス

○辭令

(各通)

海軍技手 内田 修

同 岡澤 鎮

同 田中 傳一

依願免本官(其請海軍省) 休職海軍技手 井上 長繁

○雜款

○滯在地變更

海軍大佐篠原利七ハ吳ニ滯在地變更ノ儀十二月二十二日認許セラレタリ

○着任

生島海軍造兵廠會計部長本月二十二日着任ス

(秘 外 部)

海軍公報 第七百十二號

大正三年十二月二十三日(水)

海軍大臣官房

○艦船所在

▲印ハ、ハ、ホヲ指定ヲ要セス

○十二月二十三日午前十時調

【横須賀】ト八雲▲、ト金剛、朝日、滿州、橋立、武藏、安藝▲、松江、津輕▲、壹岐▲、陽炎、ト彌生、吹雪、霞、有明、夕霧、ト鴻、雉、鷗、白鷹、ト叢雲、ト不知火、薄雲、栗橋丸、高崎丸、ト水七一、水六八、水六七、水七〇

【大湊】 笠置、山彦

【函館】 水二九

【吳】 ト攝津、河内、比叡、常磐、ト春日、石見、淀▲、丹後、富士、扶桑、嚴島、駒橋、潜八、潜九、村雨、ト夕風、疾風、追風、ト初雪▲、初春▲、時雨▲、春風▲、ト水無月▲、卯月▲、長月▲、菊月▲、韓崎、

ト潜一〇、潜一一、潜一二、潜一三、椅子山丸、潜一、潜二、潜六、潜七、ト潜四、潜三、潜五、硯海丸、歷山丸、豊橋丸

海軍公報第七百十二號 大正三年十二月二十三日

二六七

【佐賀ノ關】 ト水五八、水五九

【神戶】 龍田、榛名

【門司】 大和

【舞鶴】 千歲▲、周防▲、鹿島▲、吾妻▲、見島▲、隼▲、ト千鳥▲、真鶴

【敦賀】 鷗

【佐世保】 ト香取、相模、ト利根▲、三笠、薩摩、霧島、須磨▲、沖島▲、ト浦波、朝霧、磯波、綾波、最上▲、ト白鷺、三日月、夕暮、夕立、ト野分▲、白雪▲、松風▲、猿橋丸、雲雀、鷲、ト藏、鶴、雁、天拜山丸、若宮丸、友島丸

【長崎】 蒼鷹

【志布志】 ト阿蘇、宗谷

【寺島水道】 敷島

【馬公】 ト朝潮、白雲

【旅順】 ト鶴、鶉、白銀丸

【上海】 隅田、伏見、鳥羽

【青島】 千代田、宇治、嵯峨、文月丸、皇月丸、卷雲丸、漣丸、露丸、熊野丸、淀橋丸、ト敷波丸、水六〇、ト水六一、水七三、水七二、ト水七四、

【某方面】

水七五、辨天丸、關東丸

ト出雲、肥前、淺間

ト鞍馬、生駒、筑波、矢矧、筑摩、江山風、海風

ト磐手、日進、伊吹、平戸

鳥取丸、彼南丸、南海丸、鎌倉丸、加賀丸、八幡丸、鹿兒島丸

【航海中】

新高(十一月二十八日馬公發)

三池丸(十一月二十八日佐世保發)

ト對馬(九日馬公發)

秋津洲(十三日佐世保發)

ト潮、若葉、朝風、子日(十七日神戸發吳へ)

幸壽丸(十七日「ヌメヤ」發「トラツク」ヲ經テ横須賀へ)

明石(十九日佐世保發)

ト音羽(二十日大阪發吳へ)

遠江丸、神奈川丸(二十日横須賀發)

ト櫻、橋(二十一日日割島發)

千早(二十二日函館發秋ノ濱へ)

ト神風、初霜、如月、響(二十二日多度津發佐世保へ)

武州丸(二十二日佐世保發青島へ)

○ 雜款

○ 艦船歸着豫定

ト鞍馬、生駒、筑波、加賀丸、八幡丸、鎌倉丸(二十二日「スバ」發三十一日「トラツク」島著)

筑摩、矢矧、江山風、海風、彼南丸(二十二日「ヌメヤ」發右合同ノ上一月五日「トラツク」島發十三日横須賀歸着ノ豫定)

○ 郵便物送付先

驅逐艦山彦宛

十二月三十日迄ニ到達見込ノモノ

其ノ後ハ

横濱港務部氣付  
神奈川縣田浦郵便局

○ 司令乘船指定

島崎甲掃海隊司令ハ本月十五日司令乘船ヲ敷波丸ニ指定セル旨報告アリ

○ 司令艇變更

大金第九艇隊司令ハ本月九日司令艇ヲ雁ヨリ燕ニ變更セル旨報告アリ

坂元第十四艇隊司令ハ本月二十一日司令艇ヲ鶴ヨリ千鳥ニ變更セル旨報告アリ

# 海軍公報

第七百十三號

大正三年十二月二十四日(木)  
海軍大臣官房

## ○通牒

官房第三七六一號

大正三年十二月二十四日

海軍次官 鈴木貫太郎

各廳長殿

此際年末年始ノ休暇ハ各部ノ要務處理ニ差支ナキ範圍  
ニ於テ便宜差許サルル儀ト御承知相成度  
右通牒ス

海軍公報第七百十三號

大正三年十二月二十四日

八八九

1357

(秘 外 部)

海軍公報 第七百十三號

海軍大臣官房

大正三年十二月二十四日(木)

○艦船所在

▲印ハハホノ  
指定ヲ要セス

○十二月二十四日午前十時調

【横須賀】ト八雲▲、ト金剛、朝日、滿州、橋立、武藏、安藝▲、松江、津輕▲、壹岐▲、陽炎、ト彌生、吹雪、敷、有明、夕霧、ト鴻、雉、鷗、白鷹、ト霞雲、不知火、薄雲、栗橋丸、高崎丸、ト水七一、水六八、水六七、水七〇

【横濱】笠置、山彦

【大湊】曙、ト水六六

【荻ノ濱】千早

【室蘭】ト水二九

【函館】ト水二九

【吳】ト浦津、河内、比叡、ト音羽、常磐、ト春日、石見、淀▲、丹後、富士、扶桑、嚴島、駒橋、潜八、潜九、村雨、ト夕風、疾風、追風、ト潮、若葉、朝風、子日、ト初雪▲、初春▲、時雨▲、春風▲、ト水無月▲、卯月▲、長月▲、菊月▲、韓崎、ト潜一〇、潜一一、潜一二、潜一三、椅子山丸、潜一、潜二、潜六、潜七、潜四、潜三、潜五、硯海丸、歷山丸、豊橋丸

【佐賀ノ關】ト水五八、水五九

【神戶】龍田、榛名

【門司】大和

【舞鶴】千歲▲、周防▲、鹿島▲、吾妻▲、見島▲、隼▲、ト千鳥▲、真鶴

【敦賀】鶴

【佐世保】ト香取、相摸、ト利根▲、三笠、薩摩、須磨▲、沖島▲、ト浦波、朝霧、磯波、綾波、最上▲、ト白鷺、三日月、夕暮、夕立、ト野分▲、白雪▲、松風▲、猿橋丸、雲雀、鷲、ト蕨、鶴、天拜山丸、若宮丸、友島丸

【長崎】霧島▲、香磨

【志布志】ト阿蘇、宗谷

【寺島水道】敷島

【馬公】ト朝潮、白雲

【旅順】ト鶴、鷗、白銀丸

【上海】ト阴田、伏見、鳥羽

【青島】千代田、宇治、嵯峨、文月丸、皐月丸、卷雲丸、漣丸、霞丸、熊野丸、淀橋丸、ト敷波丸、水六〇、ト水六一、水七三、水七二、ト水七四、

海軍公報第七百十三號 大正三年十二月二十四日

二六九



【某方面】

水七五、關東丸

▽出雲、肥前、淺間

▽鞍馬、生駒、筑波、矢矧、筑摩、江山風、海風

▽磐手、日進、伊吹

鳥取丸、彼南丸、南海丸、鎌倉丸、加賀丸、八幡丸、鹿兒島丸

【航海中】

新高(十一月二十八日馬公發)

三池丸(十一月二十八日佐世保發)

▽對馬(九日馬公發)

秋津洲(十三日佐世保發)

幸壽丸(十七日、メメヤ發、トラツク、ラ經テ横須賀へ)

明石(十九日佐世保發)

遠江丸、神奈川丸(二十日横須賀發)

▽櫻、橘(二十一日月削島發)

▽神風、初霜、如月、響(二十二日多度津發佐世保へ)

武州丸(二十二日佐世保發青島へ)

辨天丸(二十三日青島發佐世保へ)

平戸(二十四日「バラオ」發吳へ)

○雜款

○郵便物送付先  
第一戰隊司令部及金剛苑

吳郵便局氣付

# 海軍公報

第七百十四號

大正三年十二月二十五日(金)

海軍大臣官房

## ○通牒

海人第二一七號

大正三年十二月二十五日

海軍省人事局長心得 向井 彌一

## 各廳長殿

本戰役中ノ死亡者ニ對スル功績明細書未タ提出ナキ向  
ハ海軍功績調査規程第十五條ニ依リ速ニ進達又ハ移牒  
セラル、様致度  
右申進ス

大正三年十二月二十五日

義 濟 會

## 各艦團隊校主計官御中

今回義濟會、信義會幹事清水主計總監轉任ニ付後任ト  
シテ佐野主計大監ニ同幹事指定相成候條自今右ニ關ス  
ル御送金ハ海軍省經理局主計大監佐野雄治宛御送付相  
成度  
右御通知ス

## ○辭令

(各通)

航空術研究委員ヲ命ス

海軍少佐 立野 徳治郎

海軍技師 白岩 正雄

練習艦隊齒科醫療ヲ囑託ス

桑野 春彦

但報酬月額百五拾圓ヲ贈與シ部内限リ奏任待遇トス

(以上并請ニ海軍省)

海軍公報第七百十四號

大正三年十二月二十五日

八九〇

1360

(秘 外 部)

海軍公報 第七百十四號

海軍大臣官房

大正三年十二月二十五日(金)

○艦船所在

▲印ハハホ  
指定ヲ要セス

○十二月二十五日午前十時調

【横須賀】ト八雲▲、ト金剛、朝日、滿州、橋立、武藏、安藝▲、松江、津輕▲、壹岐▲、陽炎、ト彌生、吹雪、霞、有明、夕霧、ト鴻、雉、鷗、白鷹、ト叢雲、不知火、薄雲、栗橋丸、高崎丸、ト水七一、水六八、水六七、水七〇

【横濱】笠置、山彦

【大湊】曙、ト水六六、水二九

【室蘭】ト龍

【奥】ト攝津、河内、比叡、ト音羽、常磐、ト春日、石見、淀▲、丹後、富士、扶桑、嚴島、駒橋、潜八、

潜九、村雨、ト夕風、疾風、追風、ト潮、若葉、朝風、

子日、ト春風▲、初春▲、時雨▲、初雪▲、ト水無月▲、

卯月▲、長月▲、菊月▲、韓崎、ト潜一〇、潜一一、

潜一二、潜一三、椅子山丸、潜一、潜二、潜六、潜七、

ト潜四、潜三、潜五、硯海丸、歷山丸、豊橋丸

【佐賀ノ關】ト水五八、水五九

【神戶】龍田、棲名

【門司】大和

【舞鶴】千歲▲、周防▲、鹿島▲、吾妻▲、見島▲、

隼▲、ト千鳥▲、真鶴▲

【敦賀】鷗

【佐世保】ト香取▲、相摸▲、敷島、ト利根▲、三笠、薩摩、

須磨▲、沖島▲、ト浦波、朝霧、磯波、綾波、最上▲、

ト神風、初霜、如月、櫻、ト白霧、三日月、夕暮、

夕立、ト野分▲、白雲▲、松風▲、猿橋丸、ト瀨、鶴、

天拜山丸、若宮丸、友島丸

【玉浦】雁

【長崎】霧島▲、蒼鷹

【志布志】ト阿蘇、宗谷

【馬公】ト朝潮、白雲

【仁川】雲雀、鷺

【旅順】ト鶴、鶉、白銀丸

【上海】阴田、伏見、鳥羽

【青島】宇治、嵯峨、文月丸、皐月丸、卷雲丸、

漣丸、霞丸、龍野丸、淀橋丸、ト敷波丸、水六〇、

ト水六一、水七三、水七二、ト水七四、水七五、

關東丸

海軍公報第七百十四號

大正三年十二月二十五日

二七一

【香 港】 ト對馬、秋津洲、明石、新高

【某方面】 ト出雲、肥前、淺間

ト鞍馬、生駒、筑波、矢矧、筑摩、江山風、海風

ト磐手、日進

鳥取丸、彼南丸、南海丸、鎌倉丸、加賀丸、八幡丸、  
鹿兒島丸、三池丸

【航海中】

伊吹(十五日新坡嘉發吳へ)  
幸壽丸(十七日「メメヤ」發、トラツクヲ經テ横須賀へ)  
神奈川丸(二十日横須賀發)  
ト櫻、橘(二十一日月削島發吳へ)  
武州丸(二十二日佐世保發青島へ)  
辨天丸(二十三日青島發佐世保へ)  
平戸(二十四日「バラオ」發吳へ)  
千早(二十四日荻ノ濱發横須賀へ)  
千代田(二十四日青島發旅順へ)  
遠江丸(二十四日二見港發)

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更  
松下第六驅逐隊司令心得ハ本月二十日司令驅逐艦ヲ初  
雪ヨリ春風ニ變更セル旨報告アリ

○郵便物送付先

練習艦隊司令部並軍艦阿蘇、宗谷宛

十二月二十九日ヨリ一月二日迄ニ到着見込ノモノハ

鹿兒島

長崎

佐世保

一月七日迄ニ到着見込ノモノハ

同十六日同

臨時青島要港部氣付

軍艦殿島宛

# 海軍公報

第七百十五號

海軍大臣官房

大正三年十二月二十六日(土)

## ○令達

官房第三六六九號ノ三

大正三年度歳出科目左ノ通追加ス

大正三年十二月二十六日

海軍大臣 八代 六郎

歳出經常部				歳出臨時部											
款	項	目	節	解	疏	會計科目	電信略號	臨時海軍 建築部費	俸給	賞與	事務費	海軍探炭 所作業費	俸給	賞與	事務費
(海軍本費)	(俸給)	賞與										海軍探炭所作業費			
	(雜給及雜費)														
		(給與)													
		○慰勞金													

海軍公報第七百十五號 大正三年十二月二十六日

八九一

1363

<p>(雜給及雜)</p>	<p>慰勞金</p>	<p>官房第三八〇三號 第四艦船郵便所ハ之ヲ廢止ス 大正三年十二月二十六日 海軍大臣 八代 六郎</p>	<p>○通牒 海人第二〇四號ノ二 大正三年十二月二十六日 海軍省人事局長心得 向井 彌一</p>	<p>各廳長殿 用紙配付取止ノ件 去月十八日付海人第一〇四號ヲ以テ海軍功績調査規程 書例中第一號用紙調製配付ノ事ニ取計來候處最早現品 柳底ニ付自今配付不致候 右通知ス</p>	<p>○辭令 海軍大學校佛語學教授囑託 小山田銓太郎 自今報酬月額參拾五圓ヲ贈與ス</p>
<p>海軍大學校獨逸語學教授囑託 吉村 淵藏 自今報酬月額四拾五圓ヲ贈與ス(以上海軍省)</p>	<p>○雜款 書類送付先 東宮武官宛書類ハ本日ヨリ常分靜岡縣沼津西御用邸へ 送付アリタキ旨通牒アリタリ</p>	<p>○滯在地變更 海軍機關大佐黒川巳太郎ニ舞鶴ニ滯在地變更ノ儀十二 月二十五日認許セラレタリ</p>	<p>○正誤 十二月十八日海軍公報第七百八號通牒欄、艦本第五九 三五號大阪地方指定工場中削除ノ件中「官房第三五〇 號」トアルハ「官房第一三五〇號」ノ誤</p>		